

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析および考察についてのお知らせ

初冬の候、皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。また、日頃より本校の教育活動にご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、6年生を対象に4月に実施されました全国学力・学習状況調査の結果より、課題を分析および考察したものをもとに、今後の本校の教育活動についてお知らせ致します。

◇本校の成果・課題と考えられる事項◇ ※全国平均のポイントよりも高い項目と低い項目

国語

※基礎知識を問う問題から

- ローマ字を読む。
- 目的に応じて集めた情報を関連付けてまとめ、自分の考えをもつ。
- △書き手の表現の仕方をよりよくするために助言する。
- △書く目的に応じて、書く事柄を整理する。

※活用力を問う問題から

- グラフを基に、わかったことを的確に書く。
- 目的に応じて、表を基に、自分の考えを書く。
- 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかく。
- △目的に応じて、グラフを基に、自分の考えを書く。
- △書かれた内容を、目的に応じて順序立てて整理して読む。

算数

※基礎知識を問う問題から

- 小数のたし算やわり算、分数のかけ算が正しく計算できる。
- 単位置あたりの大きさの求め方を理解している。
- わる数とわられる数に同じ数をかけても、商はかわらないことを理解している。
- △小数の大小関係を理解している。
- △1を超える割合を百分率で表す場面で、基準量と比較量の関係を理解している。

※活用力を問う問題から

- 見つけた考え方を別の場面に用いて、その説明を言葉や式でする。
- △示された式の中の数値の意味がわかり、それを記述する。
- △角の大きさに目をつけて、示された図形を判断する。

質問紙調査(学習・生活環境のアンケート)

- 読書が好きな児童は9割、普段30分以上読書をしている児童は7割で、平均より30ポイント上回っている。
- 全員が宿題に取り組み、平日家庭で1時間以上勉強をしている児童は9割である。また、計画を立てて勉強している児童も7割5分で、平均より10ポイント上回っている。
- 授業の中でわからないことがあったときは、そのまましておく児童はおらず、自分で調べたり家の人に尋ねたりする児童が5割も多い。しかし、先生や友達に尋ねる児童は3割5分と少ない。
- 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかった経験がある児童は、9割5分と平均より10ポイント上回り、学校へ行くのは楽しい、友達に会うのは楽しいという回答につながっている。
- △課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいる児童は7割で、平均より5ポイント下回り、話し合いの中で自分の考えを深めたり広げたりできる児童は6割で、8ポイント下回っている。
- △算数の授業の内容がよく分かると答えている児童は、8割5分で平均を5ポイント上回るが、新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思う児童は5ポイント下回り、解き方が分からないとき、あきらめずにいろいろな方法を考える児童は10ポイント下回る。

以上の事項を踏まえた本校の課題

- 多面的に捉えたり、分析的に捉えたりして、論理的に思考を深めていく力の育成
- 自分の思いを聞き手にうまく伝えたり、自分の考えを整理して話したり書いたりする力の育成
- 決められたことはできるが、さらによりよい自分にしていくこととする心の高揚と主体性

◇学校として今まで以上に力を入れたいこと

- ・基礎的・基本的な知識・技能の習得(少人数指導、教え合い学習、漢字・計算検定、CRT実施など)
- ・考えの過程を大切にしたいノートづくり(根拠をもとに自分の考えを的確に記述、ノート交流会の実施)
- ・テーマについて自分の考えを簡潔に書く場を意図的に設ける(毎時間の授業でのまとめ、まとめ直し)
- ・根拠を明確にして筋道立てて話す(授業での発言、ペア交流、話し合い活動など)
- ・自主学習の内容をより詳しく示していく(教科書を利用した予習や復習、調べ学習、日記など)
- ・家庭学習の充実と見届け(家庭学習パワーアップ週間の設定、確かな見届けとやりきり)

◇家庭で大切にしていきたいこと

- ・学習時間の確保と学習の見届け(ノートの点検、励ましの声かけ)
- ・コミュニケーションの時間の確保(会話、ふれあい、親子読書、町図書館の利用など)

